

ある むぜお

府中市郷土の森博物館だより

al museo

2025年3月20日

No.151



「天然記念物 馬場大門櫛並木」の標柱

もくじ

- 1-2 国天然記念物指定 100 年 馬場大門のケヤキ並木
その④…100 年前に建てられた標柱
- 3 展示会案内
企画展 野鳥の選択
- 4-5 NOTE
広がる府中の「富士見」
- 6 series 祈願と御利益
④「子孫繁栄」に求めるもの
- 7 最近の発掘調査
室町～戦国時代の黒い塚
- 8 近代プラネタリウム誕生 100 周年！
プラネタリウムについて知ろう！
⑧思い出のプラネタリウム

国天然記念物指定 100 年

馬場大門のケヤキ並木

おおくにたまじんじや
大國魂神社の参道であるケヤキ並木は、1924 年（大正 13）に国の天然記念物に指定されました。2024 年、100 周年を迎え、博物館では 12 月から 1 月にかけて展示会を実施しました。本誌でもケヤキ並木にまつわる話題を 4 回シリーズでお届けしています。

その④…100 年前に建てられた標柱

上の写真は、ケヤキ並木にあるひょうちゆう標柱です。京王線の高架から 60m ほど南方に立つこの標柱は、天然記念物指定の翌年、1925 年にこんりゆう建立されています。もはや、100 年前の遺産といってもよいでしょう。

近代プラネタリウム誕生 100 周年！

プラネタリウムについて知ろう！



⑧思い出のプラネタリウム

この連載の中で、プラネタリウムの意義や役割、技術的な進歩の歴史などを、様々な角度からご紹介してきました。

一口にプラネタリウムと言っても、その特徴は様々ですが、今回は筆者が実際に観てきたプラネタリウムの中で、その時代の雰囲気や変化をお伝えできるものを、時系列順にいくつかご紹介したいと思います。

○はじめて出会ったプラネタリウム

1980 年代、長野県にある私の出身小学校には、プラネタリウム室がありました。1 クラスが入るかどうかのドーム径で、惑星と、300 個程度の恒星が出せるくらいの小型の投映機でしたが、今思えば、学校が理科教育に力を入れていたのかもしれませんが。問い合わせたところ、現在もその部屋は残っていますが、残念ながら使われてはいないそうです。

○衝撃を受けた一球式プラネタリウム

プラネタリウム本体の形状は、かつてはダンベルのような、あるいは串団子のような、二つの球が付いたものが主流でしたが、前号のような経緯から、徐々に一球式のプラネタリウムの時代が訪れます。一球式は、つくばで科学万博が開催された 1985 年頃から現れはじめた形状ですが、私は 1997 年に長野市立博物館で初めて見ました。真っ黒で、歯車も覗いていた二球式の投映機から、シンプルで未来的なデザインの一球式に変わった時の衝撃は忘れられません。

○アメリカの先進的プラネタリウム

ニューヨークのアメリカ自然史博物館に併設されているヘイデンプラネタリウムは、2000 年にリニューアルされ、私は 2003 年に観覧しました。球体のドームが入った四面ガラス張りの建物に驚き、全天周の映像の迫力に驚き、映像に連動して振動する座席に驚きました。投映番組は娯楽色が強く、21 世紀のプ

ラネタリウムの方向性を予見させるものでした。ガラス張り+球体というデザインは、国内では現在、郡山市ふれあい科学館や千葉市科学館などにも採用されています。

○自然の星に近づいたプラネタリウム

最後は 2018 年にリニューアルした当館。その性能は前号や 145 号などに詳しく綴られていますが、星の見え方や色味、それぞれの明るさの違いなどがグッと現実のものに近づきました。

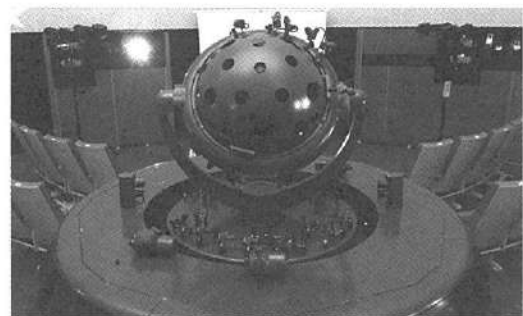
どれだけ映像番組の解像度や演出の自由度が増していったとしても、プラネタリウムは本質的に「星空のシミュレーター」であり、自然の星空を再現することが大切な使命です。手前味噌ですが、リニューアル後の当館の星空は、それまで私が見てきたプラネタリウムの中でも、最も自然の星の見え方に近いと感じられました。

○最後に

プラネタリウム施設は、時代と共に様々に移り変わってきましたが、そのなかには一つとして同じものはありません。

誕生から 100 年を超えたプラネタリウムですが、これからも進歩は続いていくことでしょう。その世界にささやかながら関わった者として、これからも皆さんが天文、宇宙への興味を持ち続けてくださり、皆さんのプラネタリウムの思い出が増えていくことを願っております。

(小林善紹)



GSS-URANUS 光学投映機 (長野市立博物館蔵)。機器の変更により、もう投映する姿は見られない。